

社会福祉法人行田市社会福祉協議会評議員会議事録

1 会議の日時及び場所

- (1) 日 時 令和3年6月22日(火) 午前10時00分 開 会
午前11時15分 閉 会

- (2) 場 所 行田市総合福祉会館 福祉団体活動支援室

2 評議員総数 21名

- (1) 出席評議員 20名

羽鳥評議員、高鳥評議員、萩原評議員、今村評議員、
栗原評議員、本間評議員、井桁評議員、長島評議員、
平岩評議員、小嶋評議員、関口評議員、小暮評議員、
渡辺評議員、小林評議員、小川評議員、須加評議員、
鈴木評議員、中澤評議員、松浦評議員、増田評議員

- (2) 欠席評議員 1名

高沢評議員

3 その他の出席者

- (1) 監事 大谷監事

- (2) 事務局 福原常務理事兼事務局長、磯川事務局次長、長谷川事務局次
長、塚原主幹、島崎主幹、松島主査、新井主査、川田主査

4 議事の経過及び議案の結果

- (1) 開会宣言

事務局は、「本評議員会が、行田市社会福祉協議会定款第15条第1項の
規定による決議に必要な過半数に達している」との報告をする。

- (2) 議長の選出

事務局は議長の選任について、議場に諮った。「事務局に一任」との声が
上がり、事務局は、羽鳥評議員を議長に指名した。羽鳥評議員は、評議員
全員から承認を得て議長に就任した。

- (3) 議事録署名人の選出

議長は、議事録署名人の選出について、その選任方法を議場に諮った。
「議長に一任」との声が上がり、議長は、井桁評議員と平岩評議員を指名
した。両評議員は、他の評議員全員から承認を得て議事録署名人に就任し
た。

- (4) 議事

議長は、報告第1号「専決処分の報告について」を議題とし、その説明を事務局に求めた。

事務局は、報告第1号について、「事業区分別、社会福祉事業の資金収支補正予算書であり、当該事業に属する法人運営事業、生活困窮者自立支援受託事業、児童センター受託事業、放課後児童健全育成受託事業の4事業において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策用としての事業費を、中央共同募金会から助成金及び行田市から補助金を受けたことから、必要となる人件費、事業費及び事務費を増額補正したものと、地域福祉活動事業の「あんしんサポートねっと」において、主に利用者の増加に伴う受託金と、資金貸付事業において、新型コロナウイルスの影響により減収された世帯に対する特例貸付が大幅に増加したことに伴う県社協からの受託金が増額となったこと、また、居宅介護事業において、利用者の増加に伴い介護給付費収入が増額となったことから、収入支出予算を専決処分により補正させていただいたもので、経理規程第20条第2項の規定に基づき、評議員会に報告するもの」と説明をする。

議長は、事務局の説明の後、報告第1号について、質疑等を募ったが、議場からは、意見・質問等は出されず、「異議なし」の声が上がったため、報告案件を終了とした。

次に議長は、議案第3号「令和2年度社会福祉法人行田市社会福祉協議会事業報告及び決算について」を議題とし、事務局から説明を求めた。

事務局は、議案第3号について、「令和2年度社会福祉法人行田市社会福祉協議会事業報告及び決算について、定款第11条第5号の規定により、評議員会の承認を求めるもの」として、別添の「令和2年度社会福祉法人行田市社会福祉協議会事業報告及び決算」により、それぞれについて説明し、また決算については、大谷監事から会計監査の執行により、諸帳簿、計算書類等について正確に執行されている旨の報告があり、議案第3号についての説明は終了した。

関口評議員から「資料11ページの行田市福祉資金貸付事業について、前年度比の件数等が減となった理由はなぜか説明してほしい。」と質問が出された。

事務局は、「新型コロナウイルスに伴う特例貸付や、フードドライブ等による食糧支援を行うことで、貸付を抑えることができたことから、前年比の件数及び貸付額が減となったもの。」と答弁し、関口評議員は了承した。

議長は、再度、議案第3号について、質疑を募ったが、議場からは、意見・質問等は出されず、「異議なし」の声が上がる。

暫くの後、議長は、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席理事全員から挙手があり、議長は、議案第3号を原案のとおり承認する旨を宣した。

次に議長は、議案第4号「令和3年度社会福祉法人行田市社会福祉協議会補正予算（第1回）について」を議題とし、事務局から説明を求めた。

事務局は、議案第4号について、「経理規程第20条第1項の規定により、令和3年度における受託事業である8事業及び埼玉県共同募金会からの配分金の交付を受けて実施している共同募金配分金事業に、それぞれ予算の執行残が生じたことから、当該金額を返還するもの」と説明をする。

議長は、事務局の説明の後、議案第4号について質疑を募ったが、議場からは、意見・質問等は出されず、「異議なし」の声が上がる。

暫くの後、議長は、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第4号を原案のとおり承認する旨を宣した。

次に議長は、議案第5号ないし議案第13号の「社会福祉法人行田市社会福祉協議会理事の選任について」の9議案についてを議題とし、事務局から説明を求めた。

事務局は、「議案第5号では、任期満了に伴う理事の改選にあたり、行田市社会福祉協議会役員等及び評議員選任規程第2条の規定に基づく、学識経験者として石井直彦氏を理事に選任したいので、定款第11条第1号の規定に基づき、評議員会の決議を求めるものであり、議案第6号では、同様に行田市自治会連合会から推薦された小池利昌氏を、議案第7号では、行田市民生委員児童委員連合会から推薦された小林定春氏を、議案第8号では、行田市自治会連合会から推薦された河辺孝幸氏を、議案第9号では、行田市民生委員児童委員連合会から推薦された新島初芳氏を、議案第10号では、行田市議会から推薦された柴崎登美夫氏を、議案第11号では、社会福祉施設から推薦された蛭間順子氏を、議案第12号では、ボランティア団体から推薦された引地みち子氏を、議案第13号では、学識経験者として福原智氏を理事に選任したいため、候補者ごとに諮るものである。」と説明をする。

議長は、事務局の説明の後、議案第5号ないし議案第13号について、

質疑を募ったが、議場からは、意見・質問等は出されず、「異議なし」の声が上がる。

暫くの後、議長は、議案第5号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第5号を原案のとおり承認する旨を宣した。

続いて、議長は、議案第6号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第6号を原案のとおり承認する旨を宣した。

続いて、議長は、議案第7号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第7号を原案のとおり承認する旨を宣した。

続いて、議長は、議案第8号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第8号を原案のとおり承認する旨を宣した。

続いて、議長は、議案第9号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第9号を原案のとおり承認する旨を宣した。

続いて、議長は、議案第10号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第10号を原案のとおり承認する旨を宣した。

続いて、議長は、議案第11号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第11号を原案のとおり承認する旨を宣した。

続いて、議長は、議案第12号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第12号を原案のとおり承認する旨を宣した。

続いて、議長は、議案第13号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第13号を原案のとおり承認する旨を宣した。

次に議長は、議案第14号及び議案第15号の「社会福祉法人行田市社会福祉協議会監事の選任について」の2議案についてを議題とし、事務局から説明を求めた。

事務局は、「議案第14号では、任期満了に伴う監事の改選にあたり、行

田市社会福祉協議会役員等及び評議員選任規程第2条の規定に基づく、民生委員児童委員連合会から推薦された大谷春美氏を監事に選任したいので、定款第11条第1号の規定に基づき、評議員会の決議を求めるものであり、議案第15号では、同様に学識経験者として木村忠之氏を監事に選任したいため、候補者ごとに諮るものである。」と説明をする。


議長は、事務局の説明の後、議案第14号及び議案第15号について、質疑を募ったが、議場からは、意見・質問等は出されず、「異議なし」の声が上がる。

暫くの後、議長は、議案第14号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第14号を原案のとおり承認する旨を宣した。

続いて、議長は、議案第15号について、挙手による採決をする旨を宣した。採決の結果、出席評議員全員から挙手があり、議長は、議案第15号を原案のとおり承認する旨を宣した。

以上で議事は全て終了し、会議は午前11時15分に閉会した。

令和3年6月22日

議長 羽鳥嗣郎 

議事録署名人 井野宏裕 

議事録署名人 平岩満 